

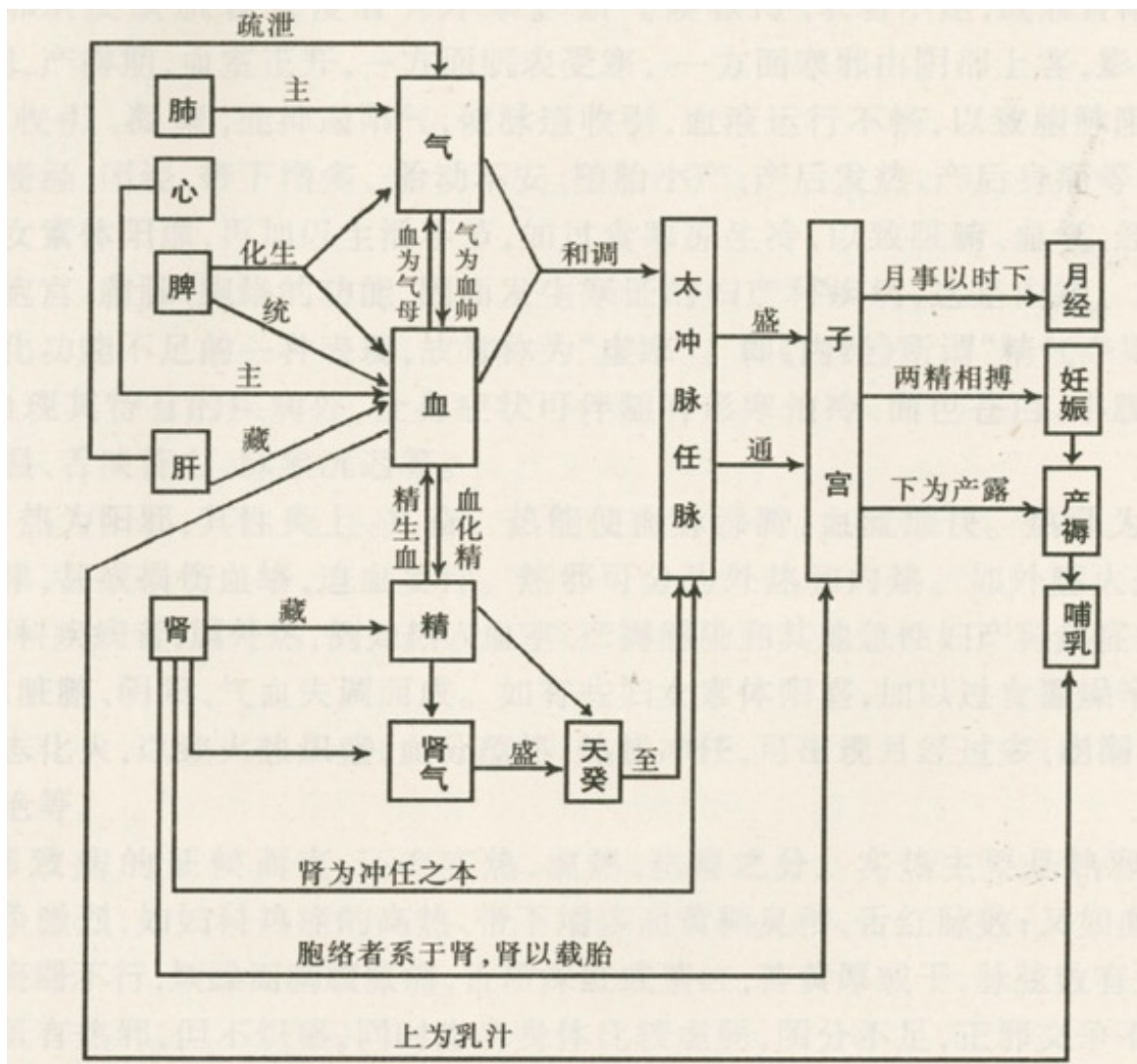
薬局漢方

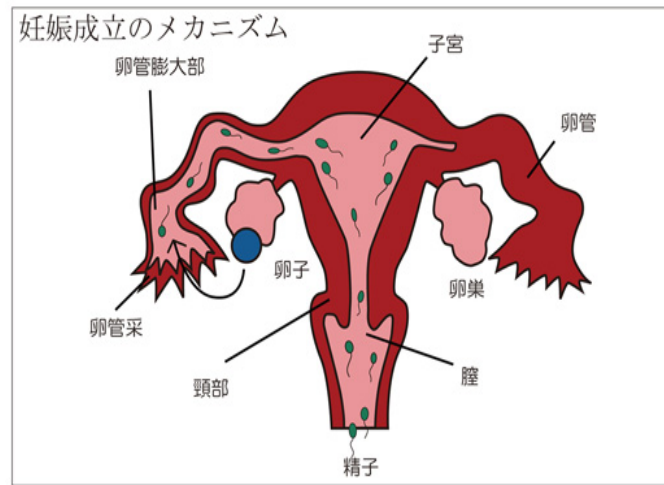


漢方医学における 高齢不妊症の治例

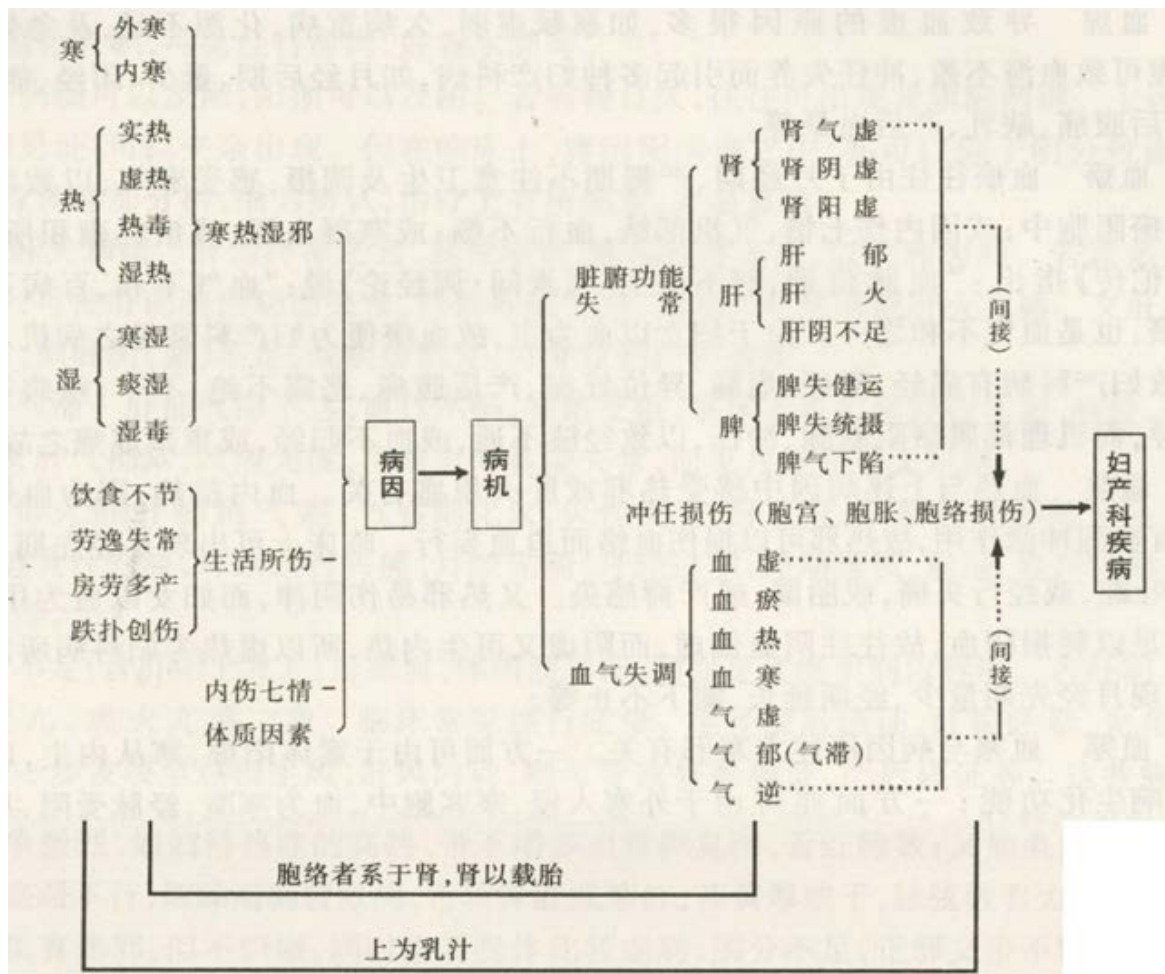
千葉県 漢方薬 誠心堂薬局 楊 晶 井上 桜

漢方医学的妊娠成立のメカニズム



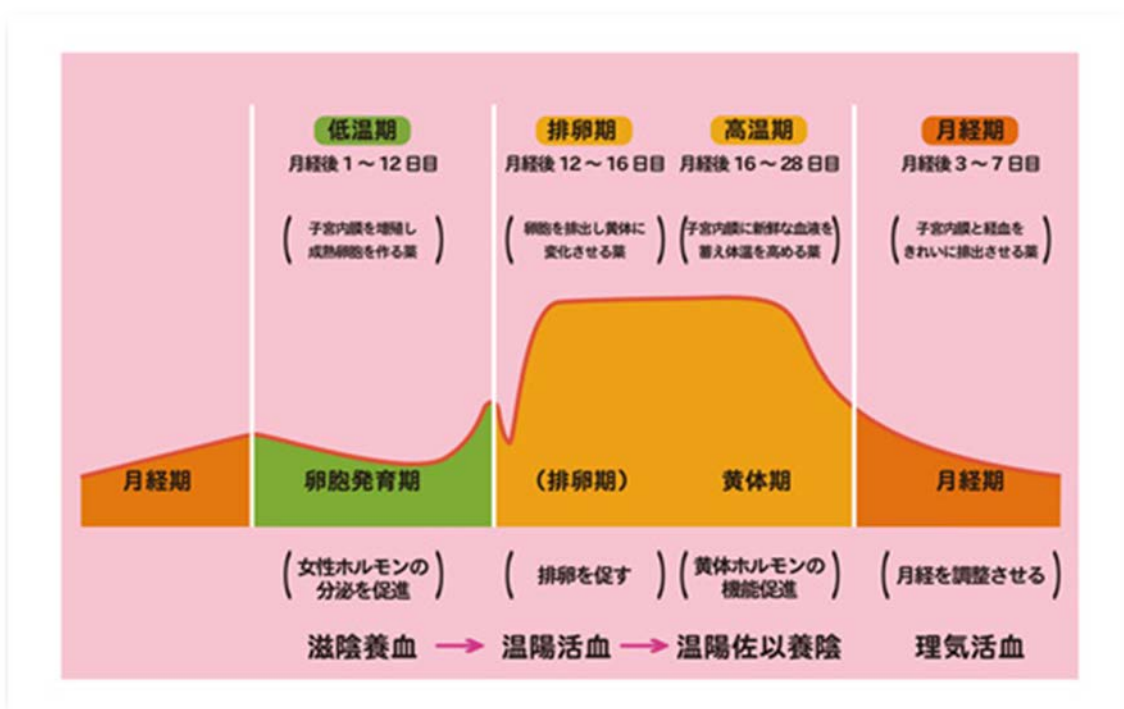


不妊症になる漢方医学的視点



漢方医学の治療方法①

- ・ 中医学の周期療法とは？
西洋医学の月経周期のメカニズムと中医学の考え方を合わせた方法です
- ・ 経周期で変化する女性のホルモン分泌に合わせ、「月経期、卵胞期、排卵期、黄体期」と、4つの時期に分け漢方薬を飲み分けます



漢方医学の治療方法②

- ・ つまり、妊娠率を上げるには卵子の質を上げ着床しやすく流産しにくい子宮環境を作ることが重要で、この確率を高めるために注目されているのが中医学の周期療法なのです
- ・ 漢方薬には、体の本来の機能を回復させていくことを目的とした煎じ薬・顆粒薬・錠剤があります

■ 症例

- ・ 番号 50980 女 S38 年 1 月 21 日生

- ・初回年齢 44 歳
- ・結婚 9 年，避妊なし，10 年前に子宮筋腫，子宮内膜症で手術をした。3 年病院に通って，人工授精 7 回。漢方と併用で 1 回体外受精。いずれも妊娠せず。病院側の診断では，着床できないか，卵が育てられないか，年齢が関係するとのこと。

症状

- ・月経初潮 12 歳，周期 25～30 日量がやや多め，色暗紅，塊があり，生理痛が酷い，生理前に胸張り，腹張，頭痛——瘀血
- ・のぼせ，脱毛——腎陰虚
- ・疲れやすい，めまい，不安——気虚，気滞
- ・腰痛，むくみ，肩こり，冷え——気滞瘀血
- ・快便
- ・おりものが少ない——陰虚
- ・舌淡苔白厚，瘀斑——気虚及び陽虚，瘀血
- ・BBT：二相，不安定，低温期が高い

治療

弁証：気陰両虚 瘀血内阻

治則：補気養血 填精補腎

処方：補腎——六味地黄丸，参茸補血丸

補気血——十全大補湯，四物湯

滋陰——二至丸

活血化瘀——活蘇源，参茸補血丸

解釈：加齢で腎精不足

結果

- ・緊張が軽くなって，蕁麻疹も出なくなった
- ・冷えが楽になった

- ・ のぼせがなくなった
- ・ 花粉症も軽くなった
- ・ BBT：周期が安定して、ホルモンの数値が落ち着いていて、低温期も正常になった
- ・ 1年半後 46歳で自然妊娠
- ・ H22年3月 47歳で女子を出産

展望

- ・ 日本の不妊症治療において、漢方医学理論により体を作り、病院の治療との相乗効果により成功率を高めていく。
- ・ 誠心堂が日本の漢方業界における役割を果たし、生薬を用いた煎剤を中心に、更に周期療法により成功率を上げていく。